

(事後評価)

北大基礎融合科学領域リーダー育成システム

(実施期間：平成 19～23 年度)

実施機関：北海道大学（総括責任者：佐伯 浩）

プロジェクトの概要

融合科学領域を担うリーダー型研究人材の育成を目的とするため TT 制度を導入し、TT 期間中に独立した研究環境とリーダー育成プログラムを提供する。リーダー育成推進委員会を設置し TT ポストの採択、人材選考等を進める。TT 期間中は、部局横断組織である創成科学共同研究機構の特任助教として、ホスト部局所属のアドバイザーによるサポートを受けつつ研究に従事する。中間評価・テニユア審査を経て可と判断されるとホスト部局の准教授等のテニユア職となる。本システムは創成科学共同研究機構における若手人材育成制度をさらに発展させるものである。事業実施 3 年目からの採用者の人件費は大学経費によって行い、事業終了後も 3 名/年程度を継続的に採用する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	国際公募・選考・業績評価	人材養成システム改革 (制度設計に基づく実施内容・実績)	人材養成システム改革 (制度設計に対するマネジメント)	実施期間終了後における取組	中間評価の反映
S	a	s	s	a	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

機関の方針を的確に反映したテニユアトラック若手研究者（以下「TT 若手」という。）の選考・採用、育成などの全学レベルの体制や方法を確立し、本プロジェクト実施初年度採用の TT 若手全員をテニユア職に採用したことは高く評価できる。今後は、蓄積したノウハウを活用し、部局レベルのテニユアトラック制（以下「TT 制」という。）を人文系など全学に普及させることを期待する。

- ・ **目標達成度**：：TT 若手採用後 3～5 年以内に部局が準備することを確約した多くのテニユアポストを活用し、優秀な TT 若手を自立的環境でリーダーとして育成するシステムを構築したこと及び女性研究者の TT 若手採用目標を達成していないことを踏まえ、国際公募要領に女性研究者を歓迎することを追記したことは評価できる。
- ・ **国際公募・選考・業績評価**：業績評価に焦点を当てた選考方法によるホスト部局からの推薦に基づき、全学レベルでリーダーとしての資質を見極める TT 若手の選考・採用プロ

セスを確立し、優秀な TT 若手を育成し、TT 若手が配分された年間研究費を大きく上回る外部資金を獲得したことは高く評価できる。

- **制度設計に基づく実施内容・実績**：第二期中期計画にも TT 制による若手研究者育成を掲げ、TT 若手の選考・採用やリーダー育成方式を部局横断型の「創成科学共同研究機構（後年度に創成研究機構として改組）」において行う制度を全学システムとして確立したことは高く評価できる。
- **制度設計に対するマネジメント**：本プロジェクト実施期間中に TT 制導入・定着に関する学内討議を十分に行い、「創成研究機構」による TT 若手育成方式以外に「部局型」や「部局女性型」の TT 制を開始したことは評価できる。
- **実施期間終了後における取組**：理学系部局での TT 制導入が進展したことは高く評価できる。今後は選定された「テニュアトラック普及・定着事業」を活用し、「創成研究機構」で実施している TT 制の特徴とこれまでの成果を活かした「部局型」などを人文系部局に普及・定着させることを期待する。
- **中間評価の反映**：若手育成シンポジウムの定期的開催、学内幹部や部局長を対象としたセミナーを開催するなど中間評価結果による指摘を本プロジェクトに的確に反映させたことは評価できる。